

理事長メッセージ 「異常気象」と「ゆらぎ」

りんくう総合医療センターの運営・診療には、平素から多大なご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、昨年に引き続き本年も暖冬、大雪、集中豪雨、竜巻などの異常気象が続く、この夏に入ってから大変な猛暑が続いており、異常気象は世界中から報告されているようですが、その原因については、自然が本来から有する「ゆらぎ」が原因であり、さらに、地球温暖化の進行により発生頻度が大きく引き上げられている、という報告があるようです。日々の天気予報は難しく、特に中・長期予報は当たり外れが大きいものの、目が離せないところです。

気候の話はさておき、来年の医療と介護の同時改定、いわゆる2018年問題は、これまでにならぬ異常気象に似た嵐が吹き荒れる可能性が有ります。この予測は、天候の長期予報と同様、今のところは困難といえます。

医療の世界における「患者さん」、あるいは「診療報酬」の動向を、「風」に例えますと、種々の要因で、なぜか風向きが変わったり、突風が吹いたり、あるいは、嵐になったり、

という日常の「ゆらぎ」が多少は(時には、かなり)あるものですが、地球温暖化ならぬ、同時改定という異常気象のような影響により、「ゆらぎ」の程度や頻度が大きくなる予想されます。

当院におきましても、逐一お知らせしておりますように、診療部の補強や体制変更などにより、一層の診療機能強化を図り、この「ゆらぎ」に対応すべく、職員が一丸となつて尽力しているところです。

暑い日々が続いておりますが、引き続き、皆様方と一層の連携と協働を積み重ね、泉州南部地域における地域包括ケアの体制整備に向けて邁進したいと考えております。

今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

りんくう総合医療センター理事長

八木原 俊克



山下病院長が(MBS・毎日放送)「医のココロ」に出演しました

山下病院長が、7月8日・15日放送の「医のココロ」(MBS・毎日放送)に出演いたしました。

8日は、「動脈硬化とは」をテーマに、15日は「動脈硬化を放置しておく」とをテーマに、人体最大の臓器である血管の役割や、どのように動脈硬化が進むのか、また動脈硬化から引き起こされる病気などについてお話しいたしました。

動脈硬化の原因は、簡単に言うと、血管の老化現象です。そこに、生活習慣の乱れや生活習慣病などの危険因子が重なると、進行は加速します。また、動脈硬化は自覚症状のないまま進行し、様々な病気の発症に繋がります。

そうならないために、まずは生活習慣を見直し、動脈硬化の危険因子を一つでも減らしていくことが大切です。

● 動脈硬化の危険因子 ●

- ・脂質異常症 ・糖尿病 ・高血圧
- ・メタボと言われる内臓脂肪の蓄積
- ・男性 ・閉経後の女性 ・ストレス
- ・喫煙 ・運動不足 …等

● 動脈硬化が原因になる病気 ●

- ・狭心症 ・心筋梗塞 ・脳梗塞
 - ・脳卒中 ・閉塞性動脈硬化症 …等
- (その他、動脈硬化が起こる場所によって、腎機能の低下や、眼底出血による失明なども挙げられます。)

Point

心臓病も脳卒中も、
原因は主に動脈硬化。

まずは生活習慣の見直しから



放映された番組は、「医のココロ」のサイトで視聴して頂くことができます。どうぞ、こちらのQRコードまたはURLよりご覧ください。

- 「医のココロ presented by 沢井製薬」サイト『動脈硬化』
<http://www.mbs.jp/inokokoro/archive33.shtml>

